

(仮称)綾瀬スマートIC 地元説明会



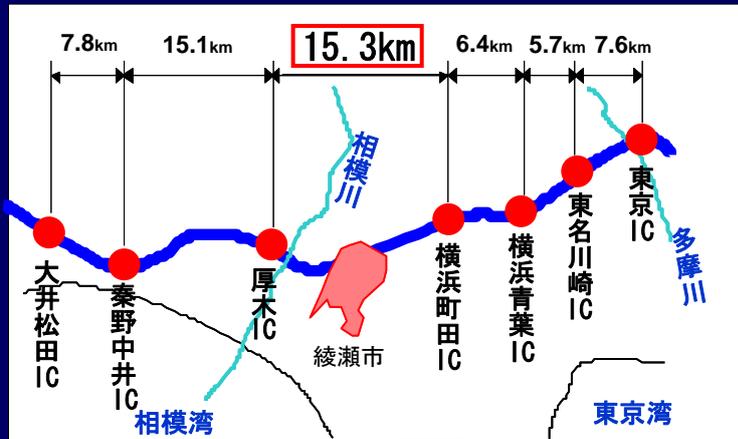
平成23年5月21日(土)・22日(日)
綾瀬市役所 7階 市民展示ホール

(1) (仮称)綾瀬スマートICの概要

(2) 今後のスケジュール

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

1 (仮称)綾瀬スマートICの必要性【現状】



横浜町田ICと厚木ICの間隔は約15.3kmであり、首都圏のIC間隔の中でも最も長い区間の一つである。

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

1 (仮称)綾瀬スマートICの必要性【現状】

(高速道路と自動車 2010年12月号)

	IC名	路線名	日平均出入交通量 台/日
1位	東京	東名高速道路	115,068
2位	湾岸市川	東関東自動車道	105,310
3位	練馬	東北自動車道	104,146
4位	三郷	常磐自動車道	102,365
5位	川口	関越自動車道	95,515
6位	横浜町田	東名高速道路	82,052
7位	厚木	東名高速道路	71,064
8位	名古屋西	東名阪自動車道	66,618
9位	大宰府	九州自動車道	63,038
10位	西原	沖縄自動車道	58,310

横浜町田ICと厚木ICの出入交通量は約7~8万台/日であり、中間ICとしては全国で1・2位になっている。

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

1 (仮称)綾瀬スマートICの必要性



- : 現況のエリア
- : 今後拡大するエリア
- : 綾瀬ICにより拡大するエリア

* 経済産業省の工場立地動向調査によると、全国の新規工場が、インターチェンジから5 km以内に立地する割合は、約5割を占めている。

両ICのほぼ中間に、新たなインターチェンジを設置することにより、高速道路へのアクセス性を強化するとともに、既存の両IC周辺の交通の負荷軽減等を図る必要がある。

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

2 これまでの取り組み①

○綾瀬市の取り組み

平成14年度	綾瀬ICの基本構想の検討 (候補箇所・形状案の検討、基本条件の整理)
平成15 ～16年度	綾瀬インターチェンジ検討調査委員会の開催 (IC設置の必要性、効果・影響等の検討)

○促進団体の概要

名称	綾瀬インターチェンジ 設置促進連絡協議会	綾瀬インターチェンジ 建設推進協議会	綾瀬インターチェンジ 設置推進広域連絡協議会
構成員	綾瀬市、藤沢市、 相模原市、厚木市、 大和市、海老名市、 座間市、寒川町の首長	綾瀬市内の経済団体の 代表者及び役員、 各地区の自治会長、 商店会長等	藤沢市、相模原市、厚木市、 大和市、海老名市、座間市、 綾瀬市、寒川町の商工会議所 又は商工会
設立日	平成15年5月	平成16年3月 平成18年9月(組織改編)	平成18年7月

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

2 これまでの取り組み②

○ 県及び綾瀬市の取り組み

	県の取組	市の取組
平成17年度	航空写真測量	オープンハウスの開催
平成18年度	ICの予備設計等	パネル展の開催等
平成19年度	アセス実施計画書策定等	シンポジウムの開催等
平成20年度	アセス現況調査等	シンポジウムの開催等
平成21年度	スマートICへ整備手法を変更	
平成22年度	スマートIC勉強会の開催 スマートIC地区協議会の開催	

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

○ (仮称)綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会

国の「スマートインターチェンジ制度実施要綱」に基づき、平成23年1月に設置

【構成員】

学識経験者(黒川東京工業大学名誉教授)
 綾瀬市長
 藤沢市長
 地元商工会・商工会議所
 地元自治会代表
 国土交通省関東地方整備局・横浜国道事務所
 中日本高速道路(株)東京支社
 神奈川県警察本部
 神奈川県(事務局)

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

○ (仮称)綾瀬スマートインターチェンジ地区協議会

国の「スマートインターチェンジ制度実施要綱」に基づき、平成23年1月に設置

【地区協議会での検討・調整事項】

- ①当該ICと周辺の土地利用や産業政策、交通動態等との整合性
- ②当該ICの社会便益
- ③当該IC及び周辺道路の安全性
- ④当該ICの採算性
- ⑤当該ICの構造及び整備方法
- ⑥当該ICの管理・運営方法
- ⑦その他当該ICの設置・管理・運営する上で必要な事項

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

○ スマートICとは

高速道路の本線やSA・PA、バスストップから乗り降りができるように設置されるインターチェンジ

通行可能な車両を、ETCを搭載した車両に限定していることから、ETCゲートのみの簡易な料金所の設置により、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがある

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

○ スマートICの種類

全国:49箇所

東名高速:富士川SA
中央高速:双葉SA
東北道:那須高原SA等

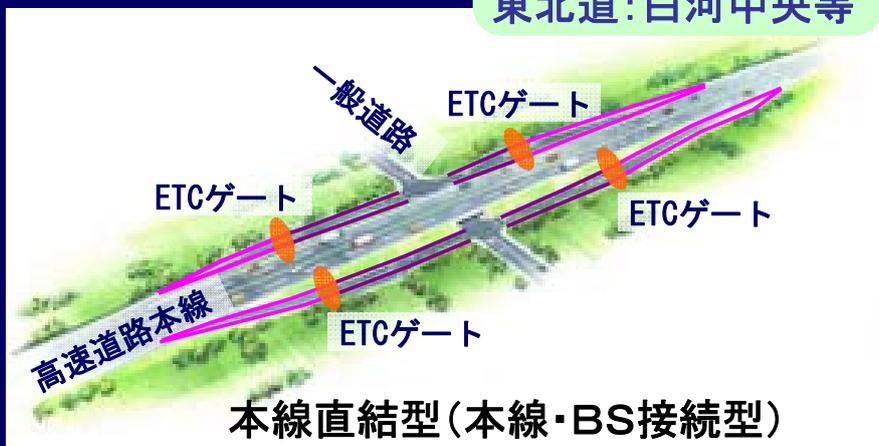


■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

○ スマートICの種類

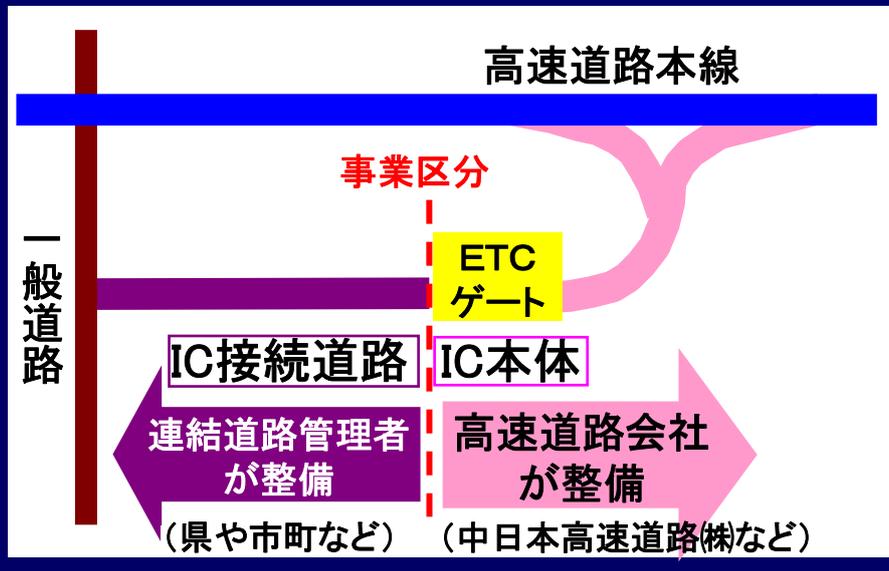
全国:7箇所

常磐道:水戸北
関越道:長岡南越路
東北道:白河中央等



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

○ スマートICの事業区分



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

3 位置図

路線名：東名高速道路（第一東海自動車道）



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

4 連結位置及び連結予定施設

連結位置 : 神奈川県綾瀬市小園地内 他
連結予定施設 : 県道42号 (藤沢座間厚木)
(一部市道11号を經由)



凡例
— 国道
— 県道

(仮称)綾瀬スマートIC

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

5 (仮称)綾瀬スマートICの位置づけ(県の行政計画)

■ かながわ都市マスタープラン・地域別計画(平成22年11月)
都市圏域別都市づくりの基本方針(県央都市圏域)

【県土連携軸】

東京市・区部方向の連携軸である「厚木東京軸」の機能強化として、東名高速道路への利便性を高める「(仮称)綾瀬インターチェンジ」の設置に取り組みます。

【都市連携軸】

(仮称)綾瀬インターチェンジによる交流機能を周辺地域に広めるとともに、拠点間の連携強化を図ります。

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

5 (仮称)綾瀬スマートICの位置づけ(綾瀬市の行政計画)

■ あやせ都市マスタープラン (平成22年12月)

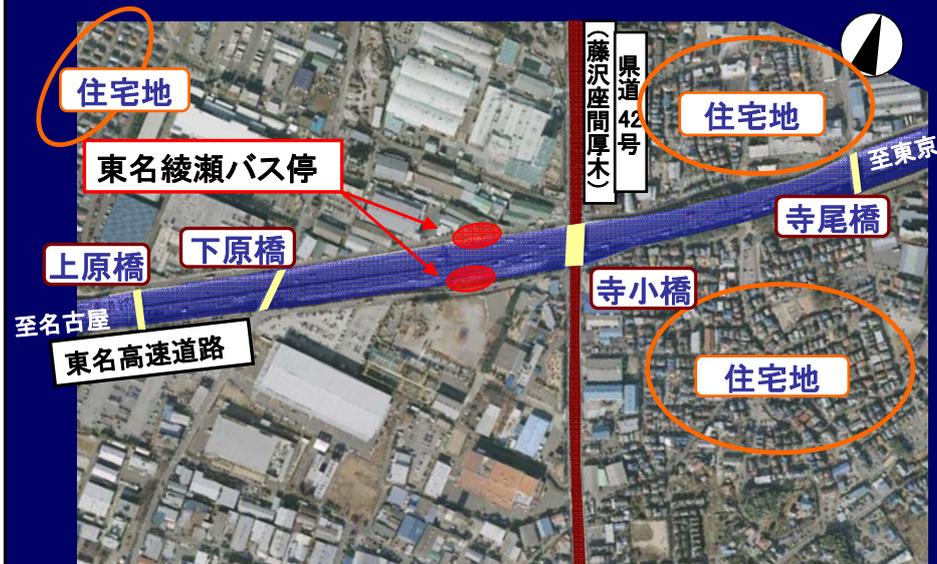
(仮称)綾瀬インターチェンジ設置で、連絡が強化される東名高速道路を「国土軸」として、県内外の他都市との連携機能の充実をめざします。

■ 新時代あやせプラン21 (平成22年12月)

人々が集うにぎわいとふれあいのあるまちの実現のため、(仮称)綾瀬インターチェンジ設置による広域的な立地ポテンシャルの向上を活かし、既存産業の活性化と新たな産業形成を図ります。

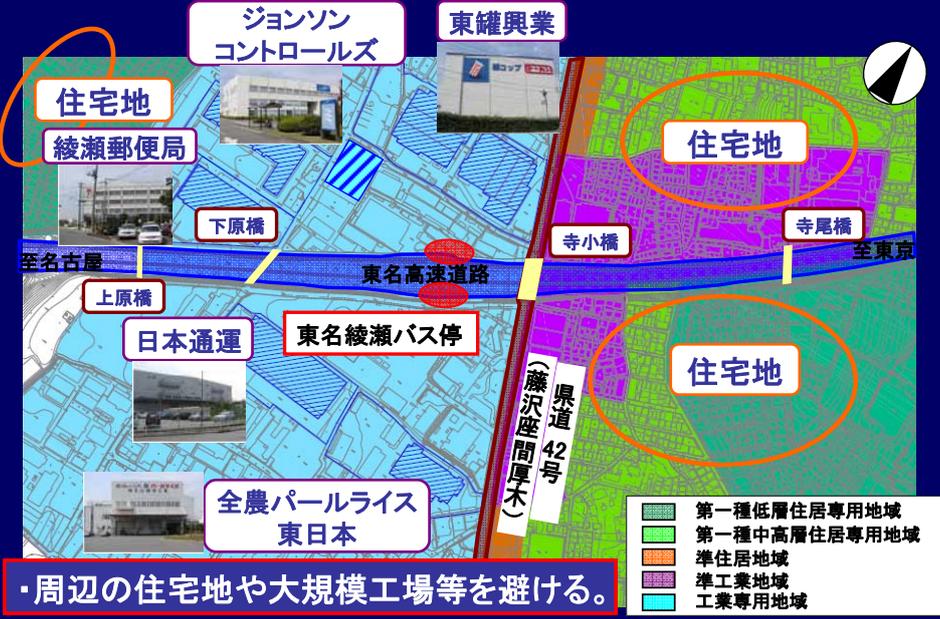
■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

6 (仮称)綾瀬スマートICの検討【航空写真】



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

6 (仮称)綾瀬スマートICの検討【前提条件①】



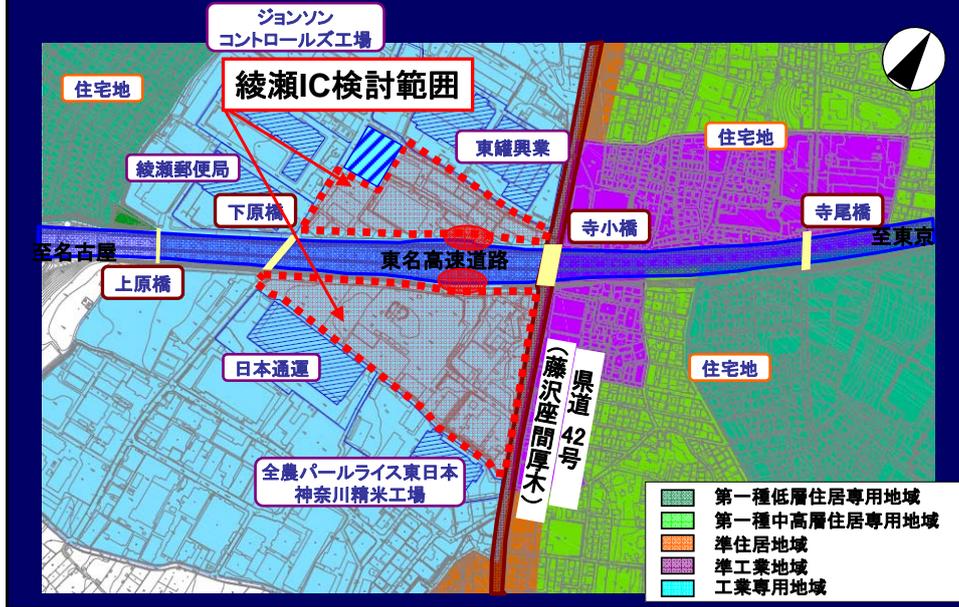
■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

6 スマートICの検討【前提条件②】



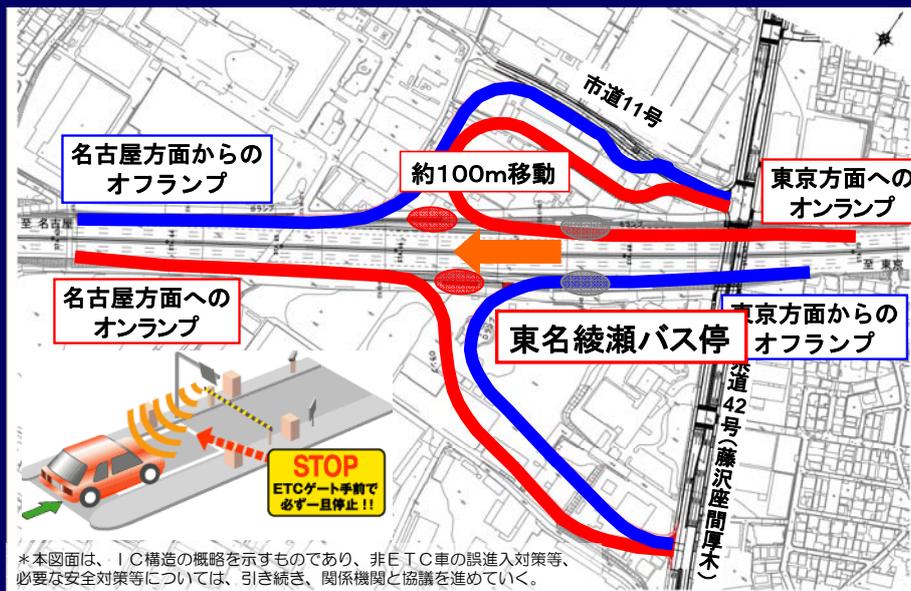
■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

6 スマートICの検討【インターチェンジの検討範囲】



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

6 スマートICの検討【概略図面】



*本図面は、IC構造の概略を示すものであり、非ETC車の誤進入対策等、必要な安全対策等については、引き続き、関係機関と協議を進めていく。

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

7 工事に要する費用の概算額

概算整備費用：約98億円

* 概算整備費用は、現在、県において精査中

8 管理・運営形態

- ①運用形態：フルインター
(全方向出入り可能)
- ②運用時間：24時間
- ③対象車種：ETC車載器を搭載した全車種
(通行可能対象車長はL=16.5m以下)

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

9 推計交通量

平成42年の推計交通量：約10,000~12,000台/日

* 推計交通量は、現在、県において精査中

10 費用便益比(B/C)

費用便益比 (B/C) = 約1.9~5.7

* B/Cは、現在、県において精査中

11 IC設置に伴う周辺地域の交通状況について

周辺地域の交通状況については、今後実施する環境影響評価の中で、交差点の解析などを行い検証する。

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

- ①広域アクセス性の向上
- ②既存IC周辺の交通負荷の軽減
- ③救命救急センターへの速達性の強化
- ④企業活動の活性化

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

①広域アクセス性の向上



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

②既存IC周辺の交通負荷の軽減

東名高速道路へのアクセスが分散することから、既存IC周辺の交通の負荷軽減が図られ、周辺の一般道路において、交通量の減少が予測される。

一方、当該IC接続道路などにおいては、交通量の増加が予測される。

* 上記は、現在、県において算定中の推計交通量に基づく予測であり、今後、推計条件等を精査することにより確定する。

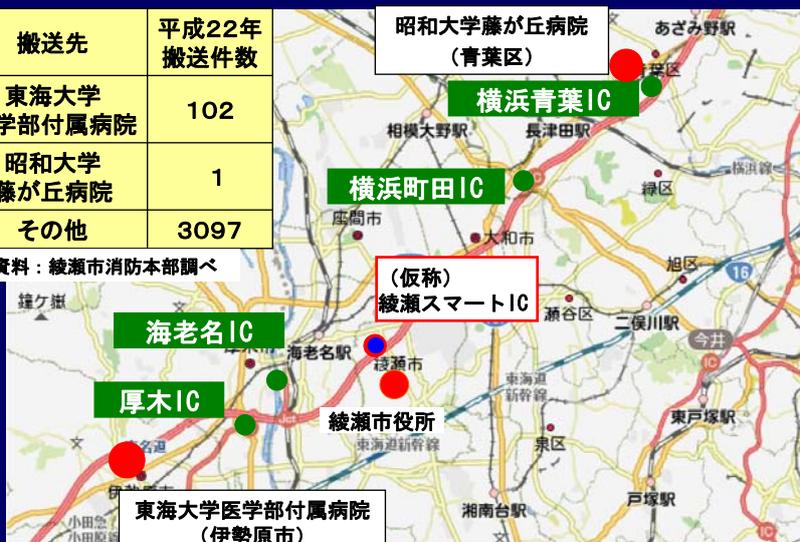
■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

③救命救急センターへの速達性の強化

搬送先	平成22年搬送件数
東海大学医学部付属病院	102
昭和大学藤が丘病院	1
その他	3097

資料：綾瀬市消防本部調べ



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

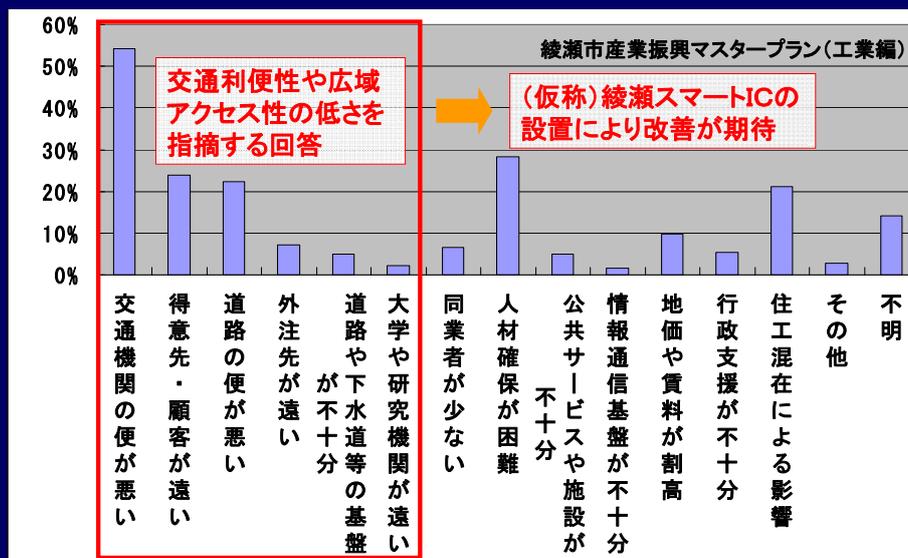
③救命救急センターへの速達性の強化



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

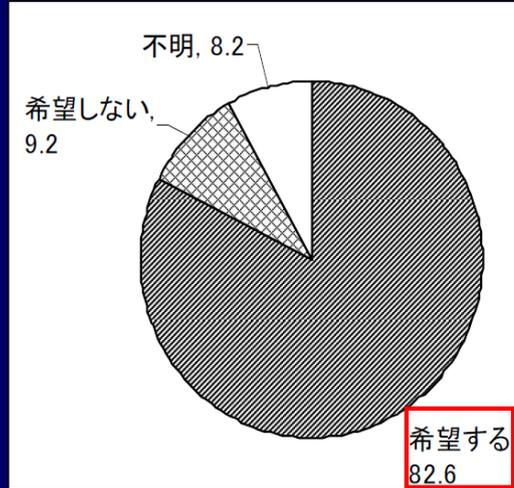
④企業活動の活性化 (綾瀬市で事業を行うメリット)



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

④企業活動の活性化 (綾瀬ICの設置について)



綾瀬市産業振興マスタープラン(工業編)

■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

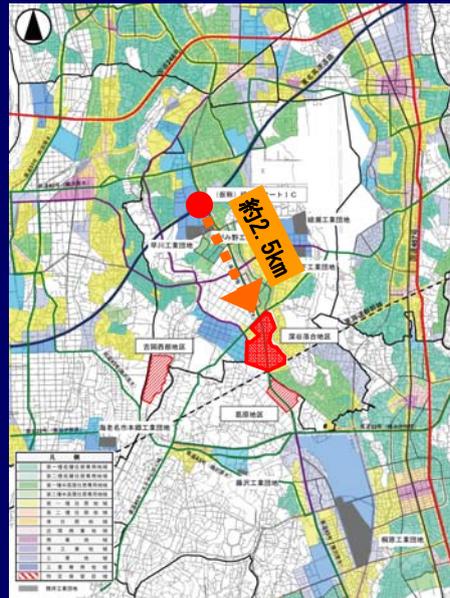
12 当該ICの設置により期待される整備効果

④企業活動の活性化

(仮称)綾瀬スマートICの広域アクセシビリティを活かした新たな産業拠点の整備

地区名	面積 (ha)	備考
深谷落合	50.2	綾瀬市
吉岡西部	32.0	綾瀬市
葛原	23.0	藤沢市

*第6回線引き見直しにおける、綾瀬市及び藤沢市内の工業系特定保留区域



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

④企業活動の活性化

(仮称)綾瀬スマートICの広域アクセシビリティを活かした新たな産業拠点の整備

地区名	面積 (ha)	備考
深谷落合	50.2	綾瀬市
吉岡西部	32.0	綾瀬市
葛原	23.0	藤沢市

*第6回線引き見直しにおける、綾瀬市及び藤沢市内の工業系特定保留区域



■ (仮称)綾瀬スマートICの概要

12 当該ICの設置により期待される整備効果

④企業活動の活性化

(仮称)綾瀬スマートICの広域アクセシビリティを活かした新たな産業拠点の整備

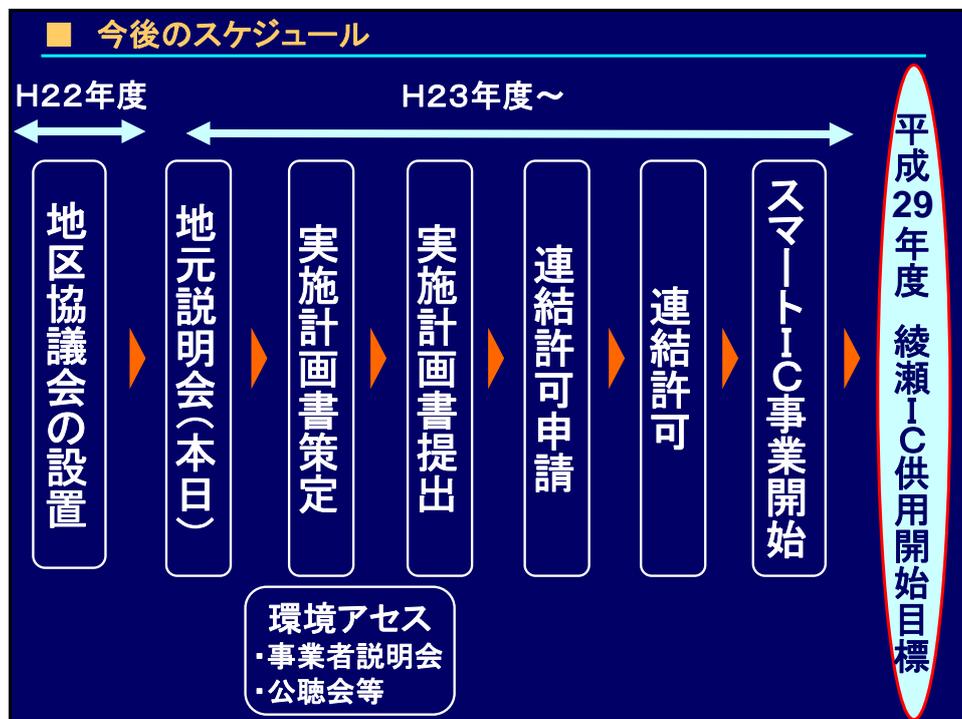
地区名	面積 (ha)	備考
深谷落合	50.2	綾瀬市
吉岡西部	32.0	綾瀬市
葛原	23.0	藤沢市

*第6回線引き見直しにおける、綾瀬市及び藤沢市内の工業系特定保留区域



(1) (仮称)綾瀬スマートICの概要

(2) 今後のスケジュール



■ 今後のスケジュール

(仮称)綾瀬スマートIC地区協議会に関するホームページ

【神奈川県ホームページ】

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7836/>

【綾瀬市のホームページ】

<http://www.city.ayase.kanagawa.jp/hp/menu000015500/hpg000015449.htm>

(仮称)綾瀬スマートIC
地元説明会



平成23年5月21日(土)・22日(日)
綾瀬市役所 7階 市民展示ホール